

まえがき

東京外国語大学語学研究所が1994年度から開講している公開講座も2017年度で22回を数えました。2011年度に東京外国語大学オープンアカデミーのプログラムとして本学本郷サテライトで実施した公開講座から、その内容を受講者だけではなくできるだけ多くのみなさんに共有していただこうと、ブックレットとして刊行して参りました。今年度からは大学のペーパーレス化の方針もあり、冊子としてではなく語学研究所のウェブサイトで公開することになりました。こうすることで、より多くの方に手軽にお読みいただくことができると思います。今回は『コーパスから見えることば・文化・社会』として、2017年秋の講演内容をお届けいたします。

この報告書は当日の講演内容を文字起こししてまとめたものです。6回の講演すべて（「コーパスから見えるドイツのことば・文化・社会」、「コーパスから学ぶフランス語」、「コーパスから見える20世紀韓国のことばと社会」、「コーパスから探る英語話者の世界の見方」、「アラブ映画のシナリオから見えたこと」、「日本語：数億語のコーパスを作って調べてみるとみえてくる頻出語、頻出表現」）が収めてあります。

各章末には講師によるコラムもあります。講演とは別の観点からそれぞれの言語や文化を眺めることができると思います。またそれぞれの講師が薦める文献も紹介されています。『コーパスから見えることば・文化・社会』が、言語と文化についてさらに広く深く知るための手助けとなれば幸いです。

2019年3月10日

語学研究所長

成田 節